第67号

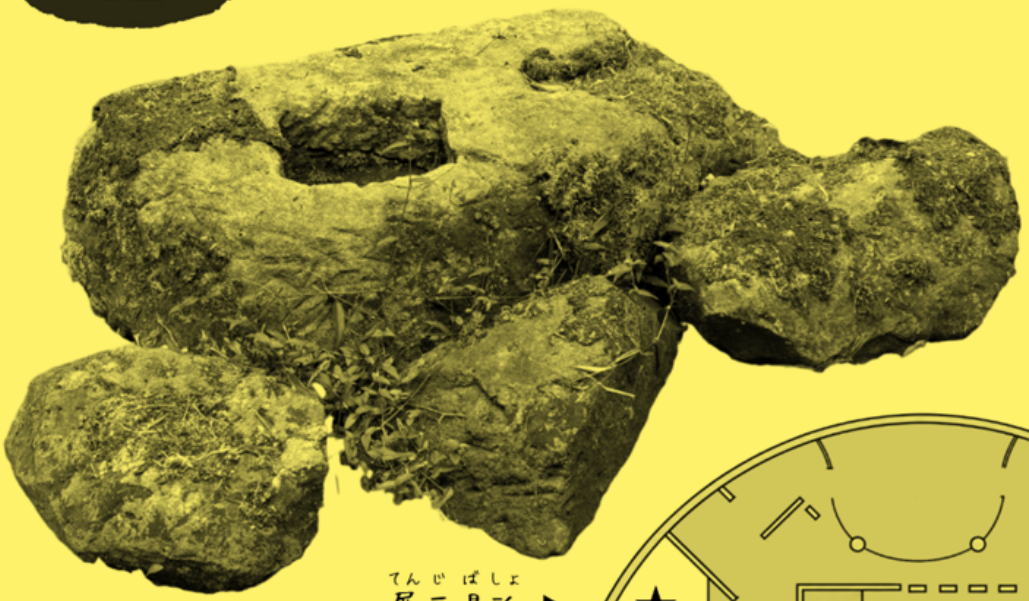
ストーン NEWS LETTER

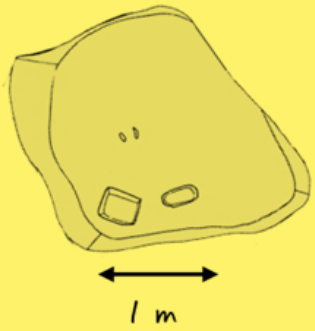
2026.11 発行

来待ストーンでは、平成10(1998)年に**堤平遺跡**(宍道町白石)で発掘された、

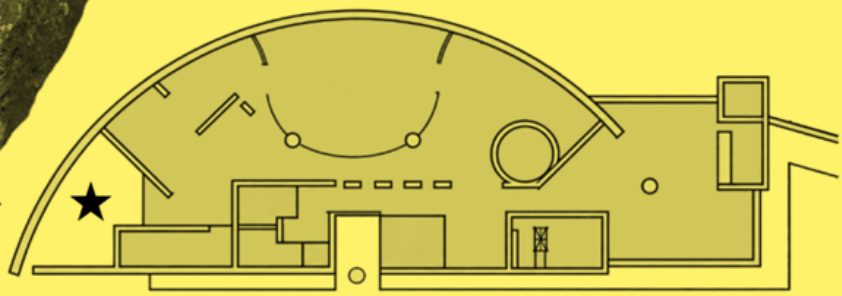
堤平遺跡の岩盤

人工的な彫り込みがある岩盤を保存展示しています。





展示場所(中庭) ▶



堤平遺跡は、山陰自動車道を建設するために調査が行われた遺跡で、旧石器時代から11世紀(平安時代)までの遺物と、弥生時代末期から古墳時代初頭にかけての住居跡や、奈良時代中期から平安時代にかけての古代寺院ではないかと考えられる建物跡などが発見されました。

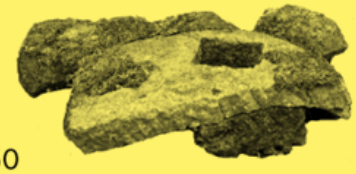
当館で展示している岩盤は、岩に約36 cm×約24 cm、深さ約16 cmの穴(彫り込み)があり、発見当時は板石の蓋が被せられていました。この穴は、お釈迦様の御骨とされる仏舎利を納めるための舎利孔ではないかと考えられています。

遺跡の調査が終了した後、岩盤の一部が切り取られ、当館に移設されました。

参考文献:林 健亮『宍道町に初めてお寺が建てられた頃 謎のお寺?堤平遺跡を探る』

モニュメント・ミュージアム
来待ストーン
MONUMENT MUSEUM KIMACHI STONE
〒699−0404
島根県松江市宍道町東来待1574−1
休館日:毎週火曜日(祝日の場合翌平日) ☎ 0852-66-9050

Anniversary 30TH 5TH



来待ストーンは令和8年度で開館30周年を迎えました。

30th

開館:平成8(1996)年